



氏名 永野 忍

年齢 48

勤務先名 九州医療スポーツ専門学校

理事経歴 現職

【趣旨キーワード】

会員数の増加 情報の透明化 組織の革新

【立候補の趣旨】

私は2017年度から2024年度までの8年間の在任中にホームページのリニューアル、公式アプリ「福岡理学ナビ」の開発や公式LINEの設置を行い福岡県民への情報発信の充実に取り組んで参りました。また学会や研修会での託児サービスの設置など会員の福利厚生にかかる事業、さらに本土会の事業計画案や事業予算案作成などの総括にも携わって参りました。女性理学療法士としての視点を活かし、事業執行にあたる理事業務のあり方について検討を続け、2024年度には役員報酬制度制定を実現いたしました。2023年度より配属されました北九州ブロックでは、入会促進に向けた新しいオリエンテーションの企画、理学療法士の声を聴くためアンケート調査も実施し、加えて管理者研修会をマネジメント研修会と改称しつつマネジメントの専門家を講師として招聘し会員の求める研修会開催にも尽力して参りました。

本土会が福岡県民の医療・保健・福祉の増進に対する負託に応え高い公益性を発揮するために、本土会が抱えるさまざま懸案事項のなかでも会員数の伸び悩みは喫緊の課題です。休会者や退会者の復会、新規入会の促進はもとより現会員にとって魅力のある組織となるようにこれまでの実績を基盤にしながら、理事に再度立候補し本土会運営に引き続き尽力して参りたいと思います。

【略歴】

2011年度 日本理学療法士協会代議員（～現在）
2013年度 福岡県士会北九州支部総務部長
2015年度 福岡県女性理学療法士の課題を考える委員会 委員長
2015年度 認定理学療法士（学校教育）取得
2017年度 福岡県士会組織部理事
2021年度 福岡県士会総務局長理事
2023年度 福岡県士会北九州ブロック理事（～現在）



氏名 松崎 哲治
年齢 57
勤務先名 夫婦石病院

理事経歴 現職

【趣旨キーワード】

組織作り 社会貢献の実現 事業展開の強化

【立候補の趣旨】

就職後より県士会活動に携わり、福岡1地区部長・福岡支部長を経て、地区・支部活動の活性化に努め、研修会の運営や講師も務め、理学療法の質の向上に努めてまいりました。また、啓発事業では、皆様のご協力で、福岡支部として多くの公民館等に出向き、一般の方々の健康維持・増進、そして「理学療法士」啓発に貢献してきました。そしてH25年からは理事及び新局の支部局長に就任し、福岡県全域の支部局の活動をお手伝いさせていただき、H27年からは理事（社会局長等）に就任し、また、H29年からは理事（地域包括ケア推進局長）、R2年からは副会長に就任し、福岡県全域の公益事業や行政との活動、そして地域包括ケアシステムに対応できる組織作りに貢献してきました。また現在企業への健康事業にも取り組んでいます。今後も理学療法の質の向上に努め、公益法人としての事業展開の強化とともに県民の皆様の信頼が得られる社会貢献の実現に努めてまいりたいと思います。

【略歴】

平成17～21年 社団法人 福岡県理学療法士会 福岡1地区 地区部長
平成21～25年 社団法人 福岡県理学療法士会 福岡支部 支部長
平成25年～現在 公益社団法人 福岡県理学療法士会 理事（現在 副会長）
平成25～令和2年 公益社団法人 日本理学療法士協会 日本神経理学療法学会 運営幹事
平成26年4月～現在 公益社団法人 日本理学療法士協会 代議員
令和元～2年 公益社団法人 日本理学療法士協会 日本小児理学療法学会 運営幹事
令和3年～現在 一般社団法人 日本理学療法士連合学会 日本小児理学療法学会 監事・理事



氏名 久保田 勝徳

年齢 35

勤務先名 桜十字福岡病院

理事経歴 現職

【趣旨キーワード】

学術推進 学術大会 会員利益の還元

【立候補の趣旨】

私はこれまで3期6年にわたり、理事を務めて参りました。3期目では、学術推進部担当理事として、以下の業務に取り組んできました。一つは福岡県理学療法士学会の管理運営、もう一つは機関誌「理学療法福岡」の編纂責任者としての業務です。

学会運営では、若手からベテラン、子育て世代まで、それぞれのライフワークに合わせた学びの場を提供することを目標に掲げてきました。この方針のもと、運営を開始してから4年が経過し、現在では、一般演題数が120を超え、参加者数は約1,000名に達しています。この結果、福岡県の学術大会は都道府県士会が主催する中でも、特に活気のある大会として高く評価されるまでになりました。

また機関誌「理学療法福岡」では、一般の投稿論文の編纂に加え、最近のトピックスを取り上げた特集企画や講演録の掲載を行うことで、福岡県理学療法士会が学術的發展を続けられるよう努めて参りました。

現在は、次年度以降の県学会の準備に取り組んでおります。特別講演や教育講演、多角的な視点から議論するシンポジウム、公募型セッションなど、参加者にとって魅力的な企画を検討しております。これらの学術推進事業を成功させるとともに、より充実した学術大会の開催や機関誌運営を通じて、会員の皆様に利益を還元することを目指しています。

これまでの経験を活かし、さらなる貢献を果たすべく、前期に引き続き立候補いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

【略歴】

令和1年～現在 福岡県理学療法士会 理事
令和3年～現在 日本支援工学理学療法学会 評議員
令和3年～現在 日本支援工学理学療法学会 広報委員
令和4年～現在 日本理学療法士協会 代議員
令和4年～現在 日本神経理学療法学会 評議員



氏名 近藤 直樹

年齢 50

勤務先名 福岡県理学療法士会

理事経歴 現職

【趣旨キーワード】

行政等との渉外 事務局機能強化 組織体制強化

【立候補の趣旨】

昨今、理学療法士を取り巻く環境は大きく変化し、活動領域は医療分野だけでなく、地域支援や産業保健、スポーツ、学校保健、さらには県民への災害支援活動など多岐にわたるようになりました。そして、理学療法士に対する期待や役割について、国をはじめ各団体が注視しています。そのため、その期待や要請に即応できる組織体制を県内の隅々までに構築することが

急務となります。

現在、本会において専務理事を務めさせていただき、本会の課題の一つである事務局機能の強化に努めてまいりましたが、引き続きこれまで以上に皆さまからの情報や意見が反映されるような組織を構築し、理事間の業務執行の調整役および行政や他団体との渉外等を担っていくことで、豊かで実りある事業を展開してまいります。

どうぞご支援のほどよろしくお願いいたします。

【略歴】

平成25年～平成26年度

(公社)福岡県理学療法士会

理事 (北九州支部、総務部)

平成27年～令和4年度

(公社)福岡県理学療法士会

理事 (事務局長)

平成27年度～現在

(公社)福岡県理学療法士会

組織検討委員長

令和5年度～現在

(公社)福岡県理学療法士会

専務理事

倫理懲罰委員長



氏名 遠藤 正英

年齢 42

勤務先名 桜十字福岡病院

理事経歴 現職

【趣旨キーワード】

専門性の向上 地域活性 組織力強化

【立候補の趣旨】

私は、福岡県理学療法士会の理事として、以下の3つの柱を大事にして活動を推進したいと考えています。それは「専門性の向上」「組織力の強化」「地域活性」です。

まず、理学療法士としての専門性をさらに向上させるために、会員が最新の知見や技術を学びやすい事業の仕組みを整えます。研修会の質を高めるだけでなく、多様なニーズに応える教育環境を構築します。また、臨床現場での実践例を共有し、理学療法士としての価値を社会に広める取り組みにも力を入れます。

次に、組織力の強化については、会員間の連携を強化すること、理学療法士としての活動を広報するためのツールやSNSの活用を進め、組織の認知度を高めることで、理学療法士の皆様が入会したくなる福岡県理学療法士会を目指します。

最後に、地域活性の視点では、地域住民の健康増進を目的とした活動を推進します。地域イベントや健康教室へ積極的に参加、地域の医療・福祉機関や行政との連携強化などを通して、理学療法士の役割を広く認識して頂く活動を行います。また、ブロック制に伴う3ブロックの強化にも邁進してまいります。

以上の取り組みを通じて、福岡県理学療法士会の発展と、会員一人ひとりの活躍を支援し、地域社会への貢献を目指します。どうぞよろしくお願いいたします。

【略歴】

公益社団法人日本理学療法士協会 代議員
福岡県理学療法士連盟 副会長
福岡県理学療法士会 副会長
日本支援工学理学療法学会 副理事長



氏名 佐々木 圭太

年齢 41

勤務先名 学校法人巨樹の会

理事経歴 現職

【趣旨キーワード】

職能団体の価値 広報 ニーズと目的

【立候補の趣旨】

令和4年より導入された新生涯学習制度により、各理学療法士が生涯にわたり歩みを進める仕組みが整ってきています。また理学療法士の活躍の場と社会的な期待の増大により、協会入会の重要性はますます高まっています。その一方で、福岡県の入会率の低さと休会・退会率の高さは全国有数です。組織基盤が弱い状態では安定的で質の高い事業提供が難しくなることから、今後さらに事態が悪化しかねない状況に陥っているといえます。この要因は様々ですが、職能団体としての価値を生み出すことと、その価値を伝えることに不十分さがあることが大きいと考えています。価値を高めることは、会員や県民の皆さまにとって有益で魅力的な事業を展開することです。ニーズと各事業の目的を明確化し、「また参加したい、次があれば参加したい」を生み出すきめ細かな工夫が求められていると感じます。同時に、魅力を十分に伝える広報戦略の必要性も高まっています。各事業の特性や対象者に応じてどのように働きかけていくか、常に模索しつづけなければなりません。私は2期4年間の経験を通し、福岡県理学療法士会のあり方を客観的に捉えることを意識してきました。「入会したい」を「入会してよかった」へとつなげるために何が必要なのかを追求するべく、引き続き積極的な意見・提言の発信に努めてまいります。以上をふまえ、本役員選挙へ立候補いたします。

【略歴】

(公社)福岡県理学療法士会 総務局組織部理事R3.6～R6.3、事務局管理部広報理事R6.4～
広報担当としてHP、アプリ、LINEを使った「正確かつタイムリーで分かりやすい情報発信」に努めるとともに、フォトコンテスト立ち上げや広報誌電子化を推進しました。また今年度はHPリニューアルとFPTAタイムズ創刊も実現し、情報へのアクセスがしやすくなったとの声を頂戴しています。各部局の事業特性に応じた広報を模索しつつ、残りの任期も精力的に職務を全うします。

(公社)福岡県理学療法士会 選挙制度検討委員R5.4～
代議員選挙ならびに役員選挙について、公平性・透明性の確保を目指し、積極的な提言を行ってきました。



氏名 田代 耕一

年齢 36

勤務先名 桜十字福岡病院

理事経歴 現職

【趣旨キーワード】

公益法人 情報提供 財務管理

【立候補の趣旨】

この度、2025年度公益社団法人福岡県理学療法士会（以下：本会）の役員に立候補いたします。これまで2期にわたり財務理事を務め、当会の財務管理整備として予算、決算管理を担って参りました。公益社団法人では、広く社会全体の利益や福祉に寄与しているか（公益性）という要件を満たす必要があり、公益性を示すために収入、支出の適正なバランスが求められます。そのため本会の事業を遂行するにあたって、基盤となる財務管理が非常に重要な役割であります。2期に渡り、この任を拝命し従事する中で可能な限り会員の皆様へ費用の流れをお伝えできればと考え実行して参りました。その1つに「令和5年度の公益事業費支出割合の情報提供」があります。これまで費用の流れは年に一度の総会で報告され、内容は難しいものでした。そこで、どの事業にどの程度の割合で費用が生じているのか示したグラフになります。今後は会員の皆様のお声を頂き、さらに分かりやすく財務管理に関する情報提供を行って参りたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

【略歴】

2016.6～2020.6：選挙管理委員長
2018.6～2020.6：公益事業部部長
2020.6～2021.6：総務部部長
2021.6～2023.6：財務担当理事
2023.6～：管理部財務担当理事 現在に至る



氏名 志田 啓太郎

年齢 49

勤務先名 戸畑リハビリテーション病院

理事経歴 現職

【趣旨キーワード】

全世代型 理学療法士 地域リハビリ

【立候補の趣旨】

地域包括ケアシステムが各自治体で発展し、理学療法士も地域の活動に関わる機会が増えています。

しかし、現実には高齢者施策が中心であり十分とは言えません。本来は全世代の日本国民に対して地域リハビリテーションを提供することが理学療法士の大切な役割の一つであると考えています。

福岡県理学療法士会でも重要なテーマと考え、県民の全世代が健康に過ごせるよう保健福祉事業を強化している最中です。

現在私は、北九州ブロック保健福祉担当理事として活動しています。理学療法士が全世代の県民の健康に関われる事業構築に、継続して取り組んでいきたいと思っております。よろしくお願い致します。

【略歴】

1998年4月 社会医療法人共愛会 戸畑共立病院 入職
2007年4月 同法人 介護老人保健施設あやめの里へ異動
2021年4月 同法人 戸畑リハビリテーション病院へ異動
現在は同病院にて在宅支援科 部門長として勤務

2002年4月 福岡県理学療法士会 北九州2地区社会局運営委員
2017年6月 福岡県理学療法士会 地域包括ケア推進局 部長
2019年6月 福岡県理学療法士会 地域包括ケア推進局 理事
2024年4月 福岡県理学療法士会 北九州ブロック 保健福祉担当理事



氏名 吉田 大地

年齢 44

勤務先名 花畑病院

理事経歴 現職

【趣旨キーワード】

健康促進支援

自己実現

社会貢献

【立候補の趣旨】

近年、企業の健康経営への関心が高まり、従業員の健康管理や生産性向上を目的とした健康増進活動に注目が集まっています。
私は、前期にて特に産業分野や企業の健康支援に関わって参りました。当会では、県の健康増進支援事業では理学療法士を派遣し、計31名で5つの企業の約450名の方々に運動や健康指導等を提供しました。その中で、現場にて理学療法士が解決に役立つ、社会貢献できると実感し、引き続き、強く進めていくべきであると考えています。今後、より多くの理学療法士が産業保健はもちろん、学校保健や体力測定等さまざまな分野で活躍し社会貢献や会員の皆様の自己実現の後押しとなるよう取り組んで参ります。患者様・利用者様はもちろん、地域の皆様も、理学療法士からのアドバイスや介入を強く望んでおられます。会員の皆様が日々研鑽されている成果を、社会に還元する機会を創り出すため真摯に取り組みますので、今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

【略歴】

地域包括ケア推進部 筑後1地区 部長：平成29年～31年
福岡県理学療法士会 事務局保健福祉部 理事：令和5年～令和6年



氏名 廣滋 恵一
年齢 52
勤務先名 九州栄養福祉大学リハビリテーション学部
理事経歴 現職

【趣旨キーワード】

会員の羅針盤 切磋琢磨の拠点 理学療法水準

【立候補の趣旨】

私は理学療法士になって30年が過ぎようとしています。
臨床・研究・教育の3領域で活動してきたなかで、福岡県理学療法士会（以下、県士会）には運営委員として4年間、部長として2年間、理事として18年間と様々な立場で関わらせていただきました。
近年、県士会への入会メリットは？と聞かれることがありますが、私にとって県士会は生涯学習の心強い羅針盤であり、情報源であり、また職場の域を超えて相談できる仲間と切磋琢磨する活動拠点でありました。玉石混淆のネット情報が飛び交う昨今、県士会は理学療法士の成長を促し、会員に確かな情報、有益な情報を提供しています。
私の目指すところは、若く次代を担う会員により積極的に参画していただき県士会を切磋琢磨する拠点としていただきたいと考えています。メリットを実感していただくための具体的取組例として、広報（情報提供）の強化、参画しやすい環境（対面・web）における登録・認定・専門理学療法士の資格取得支援と有資格者の積極的登用、行政・他団体との連携及び事業受託による会員活躍の場の提供等、会員が「県士会に入っていてよかった」と思っていただけの組織運営を目指します。
福岡県の理学療法水準を維持向上させるために引き続き尽力して参る所存ですのでご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

【略歴】

福岡県理学療法士会 理事（副会長・北九州ブロック長）
日本理学療法士協会 臨床実習教育の手引作成委員会 委員長
日本理学療法士協会 代議員
日本理学療法士協会 指定規則等検討部会 部会員
日本理学療法士協会 卒前卒後教育シームレス化検討部会 部会員
日本予防理学療法学会 理事
学術誌「日本予防理学療法学会雑誌」 編集委員長
日本理学療法学会連合 機関誌調整委員会 委員
日本運動器理学療法学会 会員
日本理学療法教育学会 会員



氏名 諫武 稔

年齢 54

勤務先名 福岡青洲会病院

理事経歴 現職

【趣旨キーワード】

キャリアパス 環境作り 職務満足

【立候補の趣旨】

日本は2040年を見据え、健康寿命の延伸や医療・福祉改革など、誰もが長く元気に活躍できる社会の実現に向けた取り組みを進めています。それに伴い私たちの置かれている環境もめまぐるしく変化しています。このような状況下だからこそ今まで以上に私たち理学療法士は一致団結して現状の課題を解決させつつ成長し続ける必要があります。

理学療法士の活躍する場は、予防、病院、在宅など多方面に広がっています。多方面で働く理学療法士がそれぞれの分野で自分自身の役割を認識した上で、キャリアパスを描き実現することができる環境を作っていく事が大切と考えております。私たちは、常に時代の流れを的確に把握し、時代に応じた理学療法士としての職域を柔軟に確立させていくことが重要であると考えます。このような状況の中で私が目指したいことは、様々な分野で働く理学療法士一人ひとりが、個々の目標を持ち、何事にもチャレンジし、個人の持つ可能性を最大限引き出せる仕組みと環境作りを実現させたいと考えています。個々のキャリアアップを支援する体制を構築することで、理学療法士という仕事に対する職務満足が向上し、加えて理学療法そのものが永続的に発展し続けることができると考えています。私たちは、新人時代から生涯にわたり、継続的な研鑽が必要です。理学療法士が仕事を楽しみ、やりがいを持ち続けられるよう全力で取り組んでまいります。宜しくお願いいたします。

【略歴】

平成6年度～平成12年度 福岡県理学療法士会福岡東地区運営委員
平成13年度～平成15年度 福岡県理学療法士会福岡東地区部長
平成19年度～平成20年度 福岡県理学療法士会福岡支部長
平成23年度～平成26年度 福岡県理学療法士会理事（財務担当理事）
平成27年度～平成28年度 （公社）福岡県理学療法士会理事（総務局長）
平成29年度～平成30年度 （公社）福岡県理学療法士会理事
（総務担当理事・財務担当理事）
平成24年度～令和5年度 （公社）日本理学療法士協会代議員
令和元年度～ （公社）福岡県理学療法士会理事（副会長）



氏名 西浦 健蔵

年齢 54

勤務先名 甘木中央病院

理事経歴 現職

【趣旨キーワード】

処遇改善 職能を磨く 選ばれる職種

【立候補の趣旨】

公益社団法人福岡県理学療法士会は、リハビリテーションの発祥の県として、日本をリードし50年以上の歴史をつないできました。2024年の診療報酬改定で初めて処遇改善につながる報酬が組み込まれました。理学療法士の持つ能力が県・市区町村または企業に選ばれる職種へと変化していく中、さらなる処遇改善につながるように政策の提言、職能を磨く手段としての登録・認定・専門理学療法の定着を中心に取り組んでいきたいと思っております。また、引き続き会員の皆様に「福岡県理学療法士会に入会して良かった」と思われる組織作りを、さらには福岡県民の皆様から信頼され、そして理学療法士が『選ばれる職種』となるよう微力ながら、精進してまいりますので皆様のご協力とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

【略歴】

2005年4月 筑後1地区部長
2007年4月 筑後支部長
2009年4月 支部担当理事
2011年4月 支部担当理事
2013年6月 総務局長
2015年6月 会長（現在至る）

（日本理学療法士協会役員 略歴）
2014年6月～代議員（現在に至る）



氏名 齊藤 貴文

年齢 45

勤務先名 令和健康科学大学

理事経歴 現職

【趣旨キーワード】

福岡ブロック 新たな県士会 強い組織

【立候補の趣旨】

私は福岡ブロック学術担当理事として、福岡ブロック研修会の企画・運営を担当してまいりました。本研修会では、従来の内容を一新し、「誰もが活躍できるステージを提供する」というコンセプトのもと、公募を中心とした多彩な企画を展開しました。その結果、これまで福岡県理学療法士会（以下、県士会）で講師経験が少なかった若手世代を中心に講師陣を構成することができました。また、新たに企画した「メンバーシップアワード」では、組織率向上に取り組む施設にスポットライトを当てることで、会員個人だけでなく、組織全体で取り組むべき課題を明確化することを目指しました。私は、知名度に関わらず、あらゆる世代・分野の会員が活躍できる場を提供することが、県士会の重要な役割であると考えています。そのため、これからも前例にとらわれることなく、会員の皆さまから寄せられたアイデアを具現化し、福岡ブロック全体が一丸となった強い組織へと進化させていきたいと考えています。さらに、旧来の慣例に固執することなく、常に組織体制を見直し、次世代を見据えた新たな県士会の姿を模索し続けてまいります。このような意志のもと、引き続き理事として立候補いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

【略歴】

平成20-25年 福岡県理学療法士会 福岡1地区運営委員
平成25-31年 福岡県理学療法士会 福岡1地区部長
平成29年-令和3年 福岡県理学療法士会 代議員
令和2年-現在 日本理学療法士協会 代議員
令和5年-現在 福岡県理学療法士会 理事



氏名 岩佐 聖彦
年齢 51
勤務先名 久留米大学医療センター
理事経歴 現職

【趣旨キーワード】

災害対策 地域共存 ブロックの強化

【立候補の趣旨】

公益社団法人理学療法士会として、会員の皆さまには地域への渉外活動や広報活動などのご協力ありがとうございます。今後も地域に必要とされる福岡県理学療法士会としてさらなる努力をしてみたいです。

50年を超える福岡県理学療法士会。若い理事が多くなり業務のスピード感と効率化がすすみました。しかし、諸先輩方が築いてこられた道のり、何より若い会員が理学療法士の将来のためと思ってもらえる努力をしてほしい。福岡県理学療法士会の魅力をもう一度。事業に参加してもらい、発言してもらおう。

令和5年7月、自分自身が豪雨災害に遭い、日本救急医学会 ICLSコースや公益財団法人国際医療技術財団JIMTEF研修会を受講しました。災害時の対応の必要性も訴えていきたいと思っています。今後は管理者ネットワークをもとに横のつながりを強固にしていきます。

何卒、ご協力ご支援よろしく願いいたします。

【略歴】

公益社団法人福岡県理学療法士会 理事
(現:筑後ブロック総務・財務担当理事
旧:支部局長 広報・福利厚生部,学会部理事)
久留米市包括支援センター 監事
久留米市自立支援ケア会議 委員



氏名 岡本 伸弘

年齢 45

勤務先名 令和健康科学大学

理事経歴 現職

【趣旨キーワード】

社会貢献

情報共有

会員支援

【立候補の趣旨】

皆様のご支援のおかげで、これまでの2期4年間、多くの貴重な経験を積むことができました。この期間、臨床実習指導者講習会や新生涯学習制度の整備など、皆様が必要とするものを提供することに全力を尽くして参りました。昨年より保健福祉関係の部署に移り、新たな挑戦を開始しています。保健福祉分野の業務は多岐にわたり、様々な活動に携わっております。

- ・福岡市や糸島市からの理学療法士派遣委託の交渉
- ・介護保険認定審査委員への推薦依頼
- ・地域ケア会議への会員推薦依頼
- ・中小企業健康経営支援企画、渉外活動
- ・学校保健に関する企画、渉外活動

これらの活動を通じて、以下の課題を認識しています。

- ・社会から理学療法士が求められていることを十分に発信できていない。
- ・社会貢献できる場を皆様へ十分に共有できていない。

次の2年間では、関心のある会員へ情報を届け、専門性を活かして社会へ貢献できる基礎を築くことを目指します。引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

【略歴】

(所属)

- ・令和健康科学大学理学療法学科 助教
- ・九州大学大学院経済学府産業マネジメント専攻 在籍

(公益事業)

- ・日本理学療法士協会指定規則検討部会 委員 (2023-2024)
- ・福岡県理学療法士会教育研修部 理事 (2021-2023)
- ・福岡県理学療法士養成校連絡協議会 委員 (2018-現在)
- ・福岡県理学療法士会福岡ブロック 理事 (2023-現在)



氏名 村上 武士

年齢 52

勤務先名 みずま高邦会病院

理事経歴 現職

【趣旨キーワード】

保健福祉事業 顔が見える関係 皆様の声

【立候補の趣旨】

会員の皆様には、日頃より福岡県理学療法士会にご協力を頂き感謝申し上げます。私は、みずま高邦会病院の村上武士と申します。引き続き福岡県理学療法士会の理事に立候補をいたします。現在、私は筑後支部ブロックの保健福祉担当理事を務めさせて頂いております。令和5年度、令和6年度はフレイル予防啓発事業、認知症啓発事業、介護予防事業、久留米市地域包括ケア実践交流会などの事業に関わらせていただいております。高齢化社会における地域包括ケアシステムに基づく介護予防のための啓発事業は非常に重要なものと考えます。しかし保健福祉事業は高齢者だけではなく多岐にわたるものと考えます。小児、成人、高齢者、学校保健、労働者の健康管理など様々な分野があります。会員・運営委員の皆様の声をうかがいながら保健福祉事業をより素晴らしいものへと発展させていきたいと考えます。引き続き顔が見える関係を目指した福岡県理学療法士会の活動・運営に携わって行きたいと思っております。応援をよろしくお願いいたします。

【略歴】

2003年6月～2009年5月 筑後支部 2地区運営委員
2009年6月～2023年5月 筑後支部 2地区部長
2014年4月～2022年3月 日本理学療法士協会 福岡県代議員
2017年4月～2023年1月16日 筑後支部 2地区代議員
2023年6月～現在 福岡県理学療法士会 理事



氏名 中村 雅隆

年齢 43

勤務先名 しらにた整形外科クリニック

理事経歴 現職

【趣旨キーワード】

事業拡大 課題解決 相互利益

【立候補の趣旨】

私たちが活躍できる場は、所属施設だけに留まらないと考えています。しかし、個人単位での活動には限界があります。福岡県内に理学療法士を必要としている県民は少なくありません。医療分野や介護分野はもちろん、保健分野においても活動の場を広げる事は、私たちにとって良い結果を招きます。私は3期に渡り理事を務めており、担当はスポーツ、産業保健、学校保健でした。数年前までは、対外事業の多くがボランティアで実施されてきました。その理由は様々でしたが、実情としては大きな問題である感じていました。しかし近年、県士会内の事業においても、他団体からの依頼においても、ボランティア事業の割合は減少し、報酬を得る事業が増えています。依頼件数も増加しており、内容も多岐に渡っています。理学療法士の価値や認知度向上は喜ばしい事である反面、いくつかの課題が表面化しています。それは、「事業の増加・継続」、「人材確保・育成」、「報酬の整合性と適正化」、「データの蓄積・運用」です。これらは、一朝一夕で解決できず、期間を要します。私は再度理事に就任することで、引き続きこれらの課題に取り組みたいと考えております。

日頃から皆さんが研鑽している技術や知識を県民に提供できる場を設ける事が、県士会の役割の一つです。今後も会員皆様のご理解、ご協力を賜れましたら幸甚です。

【略歴】

2010年～2016年 北九州2地区 運営委員
2017年～2018年 北九州2地区 地区部長
2017年～2018年 代議員
2019年～現在 保健福祉部（旧職能部）理事



氏名 平田 大勝
年齢 44
勤務先名 専門学校柳川リハビリテーション学院
理事経歴 現職

【趣旨キーワード】

保健福祉 臨床実習指導 災害対策

【立候補の趣旨】

平素より、士会運営にご協力いただきありがとうございます。昨期は、理事1期目ということで、右も左もわからない中、多くの方々のご支援のものなんとか活動できました。特に、障害者スポーツ支援や介護職への腰痛予防指導、スポーツ事業研修会など福岡県下で行われている様々な地域の保健福祉事業を支援させていただきました。活動する中で、各事業における問題点や次につながる発見がありましたので、継続的な活動を行い、担当部長と協力しながらさらなる地域保健の発展に繋げていきたいと思っております。

理学療法士養成校連絡協議会では、臨床実習指導者講習会フォローアップセミナーを担当させていただき、会長・副会長とともに、実習指導者の質の向上を図りました。こちらにつきましても、継続して養成校や現場の声を取り入れつつ、より良い学生教育の場の構築を図りたいと思っております。

災害対策では、昨年理事として第18回JIMTEF研修会アドバンスコースに参加させていただき、地域での受援体制の構築の重要性を感じています。担当理事だけではなく、士会理事全体での理解や協力が必要と考えており、特に筑後地区の受援体制構築のお手伝いをさせていただければと考えております。

【略歴】

<職歴>2009～2011年 社団法人高邦会 高木病院
2018年～現在 学校法人高木学園 柳川リハビリテーション学院 理学療法学科
<学歴>2011年 国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究所 保健医療学専攻 理学療法学分野 修士課程修了
2021年 国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究所 保健医療学専攻 リハビリテーション学分野 博士課程修了(博士；保健医療学)
<公職歴等>2018～2020年 柳川市総合計画審議会委員、柳川市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会委員
2018～2022年 福岡県理学療法士会筑後2地区学術委員
2023～現在 福岡県理学療法士会 事務局 保健福祉部理事



氏名 善明 雄太
年齢 37
勤務先名 福岡脊椎クリニック
理事経歴 現職

【趣旨キーワード】

透明性 感謝 活躍の場

【立候補の趣旨】

理事を経験していくなかで、会員の皆様に対する感謝を深く感じております。皆様に恩返しさせていただきたく、理事に立候補いたしました。県士会や業界には、現代の社会情勢に応じた改革が必要と感じています。皆様のニーズに合ったかたちに進化させていかなければなりません。現在、若い世代や中堅世代が実績を積み上げることができる環境やシステムが不十分な状況です。そのため、透明性かつ具体性のあるビジョンやシステム構築が必要不可欠です。そのために再度、学術推進部理事をさせていただくことで以下のことを実現したいと考えています。

- ①会員の興味関心が向上する透明性のある県士会作り
- ②若い会員の方が多くいるため若い男性・女性の声を積極的に聞き、対応していけるシステム構築
- ③1人でも多くの会員が活躍できる場の提供
- ④ニーズにあった研修会内容や方法の実現
- ⑤登録理学療法士、認定・専門理学療法士の取得・更新がしやすい環境を整える
- ⑥入会率の向上及び休会・退会率の低下

上記のことを実現するとともに、私にしか出来ないことをしていきます。微力ながら精進して参りますので、宜しくお願い申し上げます。

【略歴】

2010年 社会医療法人財団池友会 新小文字病院 副主任
2020年 学校法人 巨樹の会小倉リハビリテーション学院 専任教員
2024年 医療法人共仁会 福岡脊椎クリニック 事務長兼医療技術部長兼地域連携室室長
2017年-2021年 福岡県理学療法士会運営委員・選挙管理委員副委員長・学会部部長
2021年-現在 福岡県理学療法士会 学術局 学術推進部 理事
2021年-現在 日本理学療法教育学会 評議員
2022年-現在 日本理学療法士協会 常勤役員要件審査委員・代議員
2023年-現在 理学療法教育編集委員
2023年-現在 日本理学療法管理学会 ガイドライン委員会
2024年-現在 日本理学療法教育学会教育ガイドライン委員会



氏名 安 勇喜

年齢 45

勤務先名 甘木中央病院

理事経歴 現職

【趣旨キーワード】

身近な県士会 連携強化 各支部主体

【立候補の趣旨】

私は、これまで筑後地区の運営委員や地区部長、代議員として会員の皆様と共に地域に根付いた活動を行い、現在では筑後ブロック学術担当の理事として、研修会の企画や開催を中心に県士会運営に携わって参りました。

各地域において理学療法士のとりまく環境も大きく変化していることを肌で感じております。理学療法士の地域での活躍の場は広がっており、その中で情報の共有・発信するために地域を基盤とした士会活動と、医療と介護のさらなる連携強化は、喫緊の課題です。

私は会員の皆様がより身近に県士会を感じ、地域に根差した士会活動の活性化・情報共有・顔の見える関係性作りが出来るよう、支部機能の充実を図りつつ、学術研修大会の開催等も各ブロック単位で開催し、地域の県士会活動が充実したものになるように計画して参ります。

まだ、1期目の新人理事ではありますが微力ながら精一杯取り組んでいきたいと思っております。

どうぞご支援のほどよろしくお願い致します。

【略歴】

平成13年	福岡県理学療法士会	入会
平成17～26年	同	筑後1地区運営委員
平成27年～令和5年	同	筑後1地区地区部長
平成29年～令和5年	同	代議員（筑後1地区）
令和5年～現在	同	理事（筑後ブロック学術担当）



氏名 後藤 圭

年齢 33

勤務先名 製鉄記念八幡病院

理事経歴 現職

【趣旨キーワード】

活動場所の確保 新たな仕組み 多様な学習形態

【立候補の趣旨】

私が理事になった後の目標は誰でもどこでも学べる環境作りです。この「学べる」とはインプット・アウトプットの両方を指します。

インプット

子育て世代で対面研修に参加しづらい会員に対し、Web研修やハイブリット研修を増やし、自己研鑽がしやすい環境を整えます。また、業務時間の都合でリアルタイムに研修を受けられない会員のために、オンデマンド研修も企画し、全ての会員がインプットしやすい環境を整えます。これにより、福岡県の理学療法士の質の向上に寄与できると考えています。

アウトプット

自己研鑽を積んできた方に対し、研修会講師ができる機会を提供する環境を整えます。昨年北九州ブロック研修会では、公募制の研修会を開催し、これまで研修会講師の経験がない方等、誰でも講師になれるという企画を立ち上げました。今後も活躍する方を後押しする環境を整え続けます。

それ以外にも、会員の輪・つながりを強化するために、私を含めた学術スタッフが今後も知恵を絞っていきます。

【略歴】

所属：社会医療法人製鉄記念八幡病院

2014年 福岡県理学療法士会所属

2015年 北九州2地区運営委員

2023年 福岡県理学療法士会 北九州ブロック 学術担当理事



氏名 脇坂 成重

年齢 41

勤務先名 桜十字福岡病院

理事経歴 現職

【趣旨キーワード】

PTの普及啓発 PTの魅力発信 職能

【立候補の趣旨】

私は、これまで2期4年福岡県理学療法士会の理事を務めさせていただき
ました。この期間、旧社会局・現保健福祉部職能にて、1人でも多くの
県民や会員の方に、理学療法士の職域や魅力を発信していくことをミッ
ションとして活動を行って参りました。理学療法の日イベントや市民公
開講座のあり方を見直し、子どもから高齢者までより多くの方に参加で
きるような事業へ変更し、多くの世代に理学療法士を知っていただくよう
努めて参りました。理事に当選できましたら、これからの2年、さらにこ
の活動を広げるべく、他団体や行政などを巻き込んだ活動を行っていき
たいと考えております。また、前回の立候補時に掲げた「高校生へのイン
ターンシップ」など成果をあげていない取り組みもございます。こちらにも
尽力していきたいと考えております。そのためにも、理事として士会活動
に尽力させて頂けますようよろしくお願いいたします。

【略歴】

R1～ 教育研修部部长
R3～ 公益事業推進部理事
R5～ 事務局 保健福祉部理事



氏名 吉村 雅史

年齢 30

勤務先名 レ・ハビリス桜十字

理事経歴 未経験

【趣旨キーワード】

学術活動 多様化 システム構築

【立候補の趣旨】

私は2021年より学会部の部長として学会運営に携わっており、2023年には第32回福岡県理学療法士学会の準備委員長を拝命し、コロナ禍以降2年ぶりの対面開催となりましたが、皆様のご協力もあり、盛会のうちに無事運営することができました。また、県士会以外の活動として、NPO法人で運用している研修会事業の代表を務めており、医療従事者向けに多種多様なテーマで研修企画を実施して参りました。近年、会員数が減少傾向にあることや働き方ならびに専門性が多様化しているため、研修会の内容や開催方法などを柔軟に変化させていく必要があると実感しております。会員になる、もしくは続けていくメリットとして、若手からベテランまでの幅広い世代にとって学術活動が大きな魅力の一つとなるためのさらなる仕組みづくりが重要であると考えております。私自身、学会運営や研修会事業の企画運営を通じて、多くの方々と連携しながら研修会の内容を変化させて参りました。この経験を活かし、「学術活動が臨床現場の改善につながる仕組み」をさらに推進し、福岡県内の理学療法士が一層専門性を高められる環境づくりを目指したいと思っております。私が最も重要にしている点は、県内の理学療法士が社会からより一層信頼されるための組織運営です。その実現のためにも、会員皆様の学術面の発展を後押しし、地域医療・介護・福祉の向上に貢献するための具体的な提案やサポートを行って参ります。皆様方のご支援をお願い申し上げます。

【略歴】

2021年～ 福岡県理学療法士会 学術局 学会部 部長
2023年 第32回福岡県理学療法士学会 準備委員長
2024年 第22回日本神経理学療法学会学術大会 準備委員



氏名 佐藤 憲明

年齢 51

勤務先名 久留米総合病院

理事経歴 現職

【趣旨キーワード】

情報提供

活動支援

学ぶ機会

【立候補の趣旨】

私はこれまで20年間県士会活動に従事してきました。
理事としては5期10年活動してきましたが、
公益社団法人の理事として心掛けてきたことは以下の3つです。
①会員の皆様に最新で有益な情報を提供する。
②会員の皆様の学術および地域の活動を支援する。
③会員の皆様の学ぶ機会を出来るだけ多く設ける。
担当部署がどこでもこの理念は一貫させてきたと自負しております。
今後も自分が出来ることを精一杯実行していく所存ですので、
ご支援のほどよろしくお願い致します。

【略歴】

2005年～2015年 北九州2地区運営委員(学術部)
2015年～2017年 学術局 教育部担当理事
2017年～2023年 学術局 学術誌編纂部担当理事
2023年～現在 事務局 管理部総務担当理事



氏名 鈴木 裕也
年齢 42
勤務先名 製鉄記念八幡病院
理事経歴 未経験

【趣旨キーワード】

人材活用 県士会発展 PT認知度UP

【立候補の趣旨】

私はこれまでに福岡県理学療法士会の代議員を務め、県士会運営に間接的に関わってきました。現在は、私自身が学会長を拝命した令和2年より学会企画部の部長として主に福岡県理学療法士学会の企画及び運営をする立場として、県士会員の学術面の発展のために尽力してまいりました。ここ数年、学会企画部での活動をしている中で気付いたことは、福岡県の理学療法士の学術活動が著しく発展していること、全国的にも素晴らしい研究者や優秀な人材が豊富にいることです。これは全国的にみても福岡県理学療法士会が持つ大きな人材力と感じます。ただ理学療法士自体は、発展・進化していると感じるものの研修大会などにおける市民公開講座や県民向けの公開イベントなどの参加者は少なく、県民に対する理学療法士の認知度や信頼度、必要性はまだ改善の余地があると思います。福岡県理学療法士会は、職能面と学術面を兼ねた組織運営をしており、この組織運営の強みと豊富な人的リソースをもっと活かした活動（学術成果を県民対象とした社会・広報活動に素早く反映させる、一般企業や学校への産業・学童期の健康維持のための理学療法士の派遣や研究協力、社会活動への若手人材登用など）をさらにできれば、今よりもさらに福岡県民における理学療法士の認知度や信頼度の拡大が得られ、皆様が理学療法士として働く楽しさや、やりがいをもっと感じられるようになるのではないかと思います。今回、学術面だけでなく社会活動も含めて理学療法士の発展に携わりたいと思い理事に立候補します。

【略歴】

平成29年1月～令和3年6月 福岡県理学療法士会 代議員
平成31年4月～ 日本理学療法士分科会学会・部門 栄養・嚥下部門 運営幹事
令和元年7月～ 福岡県理学療法士会 学術局学会部部長
令和2年2月2日 第29回福岡県理学療法士学会学会長
令和2年4月～ 日本理学療法士協会 代議員
令和3年10月～ 日本栄養・嚥下理学療法研究会（現日本栄養・嚥下理学療法学会）理事
令和4年2月19日 第6回日本栄養・嚥下理学療法研究会学術大会 大会長



氏名 泉 清徳

年齢 54

勤務先名 聖マリア病院

理事経歴 現職

【趣旨キーワード】

理学療法士の質 変化 組織力の強化

【立候補の趣旨】

これまで理事・監事として福岡県理学療法士会の活動に携わせていただきました。私が理学療法士として仕事を始めたときと比較して、その環境は大きく変化してきました。この変化はこれからも一層厳しいものとなってくるとおぼやかれます。診療報酬・介護報酬もアウトカム評価へと変わり、どれだけ提供したかではなく、どれだけ効果が出せたのか、またそのプロセスがどうなのかと変化してきました。これは「量から質へ」つまり一人一人の理学療法士の質が求められるということです。また増加する理学療法士の活躍する職域の拡大も重要な課題です。このような点からも質の高い理学療法士の育成、つまり卒前教育・卒後教育の重要性が高まり、そしてこれらを推進していくためのさらなる組織力の構築は必須と考えます。現在の理学療法士、また次世代の理学療法士の未来のためにも微力ではございますが継続して福岡県理学療法士会のお手伝いできればと思います。

【略歴】

福岡県理学療法士会
社会局保険部担当理事
社会局調査資料部担当理事
社会局職能部医療保険担当部長
代議員
監事
日本理学療法士協会 代議員（福岡県）



氏名	田中 裕二
年齢	57
勤務先名	専門学校麻生リハビリテーション大学校
理事経歴	現職

【趣旨キーワード】

ニーズ 負担 会員

【立候補の趣旨】

福岡県理学療法士会は会員数が7,000人を超え、多様な職場で活動しています。昨年度はマスタープランをもとに新組織体制として新たな3ブロック体制を強化し、ブロックでの活動を充実してきました。会員の皆様のニーズにこたえられるよう会長・役員を中心にブロックで支えていただいている先生方の協力のもと運営を行っています。また事務局体制も整え、様々な団体と連携し、理学療法士の認知向上、職域拡大を図っています。私も監事として会員の皆様のため、また地域住民の保健医療福祉に貢献できるように協力させていただきました。今後も福岡県理学療法士会会員の皆様のニーズに対応し、かつ役員の先生方に負担のかからない県士会の運営を目指し尽力していききたいと思い立候補させていただきました。

【略歴】

令和1年～6年 福岡県理学療法士会 監事